

# 社会

関西ティーイーケイ(株)は、人権・雇用などあらゆる面で、多様性を尊重するとともに、ワークライフバランスの実現にも積極的に取り組み、「人を基本とする」経営を実践しています。調達においては、お取引先と協働して、CSRの取り組みを推進しています。ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図り、伺った声を活動に生かすことで皆様の信頼に応えてまいります。

## 人権推進と人財育成

関西ティーイーケイ(株)は、人財\*の確保と育成、雇用の多様化に取り組むとともに、「社員の雇用を守ること」に努め、かつ人権を尊重し、常に職場環境の改善に努めています。

\*人財: 人が財産との主旨から当社では「人財」と表記しています

### CSRロードマップ目標

- 1 人種、性別、学歴、国籍、宗教、身体的特徴などによるあらゆる差別の禁止を徹底するなど、人権を尊重し、実力による公平な登用を行います
- 2 活力にあふれ、誇りとやりがいのある職場風土を実現します
- 3 社員の育成機会を積極的に提供し、意欲的に活躍できる人財の確保と育成を推進します

## マネジメント

### 人権推進体制

関西ティーイーケイ(株)では、「倫理委員会」のもと、「中央・人権安全衛生委員会」、その下部委員会として各事業場(所)に「人権安全衛生委員会」を設けています。事業場(所)の委員会は、毎月人権に関するテーマを取り上げ、労使一体となって人権意識の啓発・向上に取り組んでいます。

### 人権の尊重

東レグループは、すべてのステークホルダーと良好な関係を築きながら企業活動を行うために、「人権の尊重」は欠くことのできない企業経営の基本であると考えて

ています。人権意識の啓発・向上に努めるとともに、「企業倫理・法令遵守行動規範」にも人権尊重を謳い、人種、信条、肌の色、性、宗教、国籍、言語、身体的特徴、財産、出身地などに基づくあらゆる差別的



総務部長  
とちたに たくし  
戸知谷 隆

な取り扱いを、募集・採用から配置・処遇・教育・退職に至るまで一切禁止しています。2014年度からは、性自認および性的指向による差別の禁止にも取り組んでいます。

また、事業活動を行うすべての国・地域において法令遵守を徹底するとともに、国連世界人権宣言やILO条約などの人権に関する国際規範を尊重し、強制労働や児童労働を禁止し、人権侵害やその加担をしないように努めています。

### 人権研修の実施

#### 人権教育・研修の実施(完/未完)

2016年度目標 完 ⇒ 実績 完

関西ティーイーケイ(株)では、毎年の中央・人権安全衛生委員会において、翌年の活動基本方針・年間活動計画を定めています。2017年の人権に関わる活動の基本方針は、

### 人権は一人ひとりの思いやり

— 聞こう 話そう 声かけ合おう —

と定め、活動を展開しています。また、人権に対する正しい理解と意識向上を促すため、東レ(株)と同調し、毎年人権啓発キャンペーンを実施しています。

2017年のキャンペーンは、活動方針として

#### 広げよう 心配りのネットワーク

～一人ひとりの感性を高め 差別やハラスメントのない職場をつくらう～

と掲げ、他者の尊厳を尊重する職場風土の醸成、セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント・マタニティハラスメント防止のための啓発、LGBT(性的マイノリティ)への理解促進に取り組ましました。さらに、CSRの観点から人権尊重に対する世界的な関心が高まりつつあることについても各職場で理解を深めました。

各事業場(所)においては、毎月開催の人権安全衛生委員会および職場会などを利用した啓発活動を行うとともに、社員一人ひとりの人権意識高揚に向けて、東レ(株)の事業場・工場が実施する実務担当者・管理者研修にも積極的に参加しています。

2017年2月14日、東レ(株)人権推進課長による人権研修を開催し、職場における人権問題を中心に東レグループの事例紹

介、人権問題をめぐる世間の動向ならびに東レの対応について、DVD視聴を交えながら93人が受講しました。



東レ(株)人権推進課長による人権研修

### 新しい価値を創造する人財の確保と育成

東レグループは、「企業の盛衰は人が制し、人こそが企業の未来を拓く」という基本的な考え方のもと、人財を最も大切な経営資源と捉えています。関西ティーイーケイ(株)も、「人財の確保と育成」を最重要の経営課題として取り組んでいます。すべての社員が働きがいを感じ、チャレンジ精神の旺盛な明るく活力にあふれる企業風土を構築するため、社会の変化に応じて各種施策を実行しています。

東レグループは、以下の3点を目標に、人材育成を進めています。

- 「公正で高い倫理観と責任感をもって行動できる社会人」の育成
- 「高度な専門知識・技術、独創性をもって課題解決できるプロ人材」の育成
- 「先見性、リーダーシップ、バランス感覚をもって行動できるリーダー」の育成

これら目標の達成に向けて体系的な研修制度を整備し、あらゆる階層・分野の社員に対して、マネジメント力の強化、営業力・生産技術力や専門能力の向上、グローバル化対応力の強化などを目的としたさまざまな研修を計画的に実施しています。

関西ティーイーケイ(株)は、東レグループの企業行動指針に掲げる「人財重視」に基づき、企業の持続的発展のため、長期的視点に立って安定的かつ継続的に人財の採用を行っています。TPM活動の「人財育成部会」において、当社の実情に即した全社的な人財育成のあり方を検討・立案し、実行に移しています。

2015年度からは、自分の行動特性から自己理解を深め、自分自身の役割を再確認し、コミュニケーション力の向上を図る「コミュニケーション力強化研修」をスタートし、社内講師の育成を通じて2016年度も継続して実施、定着化を図りました。

#### 「コミュニケーション力強化研修」受講実績

	2015年度	2016年度
受講実績	24人	34人

また、研修だけでなく、さまざまな人事制度を採用しており、

新しいことに果敢にチャレンジする人が、より活躍できる活性化された組織風土づくりを推進しています。

#### 主な人事制度

目標管理制度	年度ごとに各人の目標を設定し、期末に上司・本人とで達成状況を振り返る。
人事評価制度	職務・職責や能力・成果など貢献度に応じた公正な人事評価を実施する。
個別面談制度	年2回上司との個別面談を実施。計画の納得性向上や個人の育成に努める。
業務報告・アセスメント制度(総合職転換・総合職対象)	業務発表と人事面接による複眼審査を定期的実施。今後の育成方向を見極める。

### ダイバーシティ推進への取り組み

東レグループは、多様な人々がそれぞれの能力を十分に発揮し、いきいきと働くことのできる職場の構築に向けてダイバーシティの推進に取り組んでいます。

#### ■ 女性が活躍できる企業風土づくり

##### 管理職に占める女性比率

2016年度 目標 ー ⇒ 実績 **0%**

関西ティーイーケイ(株)は、エンジニアリング会社であり、また知名度の低さから女性の総合職採用は極めて難しく、女性の活躍の場が限定される状況が続いてきました。

2011年から職掌制度を導入し、女性の「総合職」への登用を進め、7人(女性社員の20%)が総合職として活躍しています。また2016年度は、当社で初めての大卒技術系女性1名の経験

#### VOICE



TPM推進室兼総務部  
こばやし かおり  
小林 香

女性総合職を対象とした第1回女性リーダー研修が行われ、他6名の女性総合職と共に受講しました。外部から招いた女性講師から2日間の研修を受け、コミュニケーションの特性、将来にわたるワークライフバランス、組織の中での役割などについて自分の今までの体験を振り返りながら、学び、考えることができました。

キャリアの目標としたくなる素敵な講師との出会いや、普段なかなか一緒に過ごす機会の少ない仲間と共に過ごすことで刺激を受け、今後の活躍の基礎を身に付けることができました。

者採用を行いました。今後は、これを一歩進め、定期採用・経験者採用も含めて活躍の場を拡大していきます。

また、女性活躍推進のため、中長期的観点から女性管理職登用のロードマップを作成することとし、その一環として2015年度から「女性活躍推進プログラム」をスタートさせ、2016年度から「女性リーダー研修」を開始しました。

#### VOICE



プラント事業部  
ほんだ みどり  
本田 みどり

滋賀経済産業協会主催の「女性力活性化研究会」に参加し、年間を通して女性活躍推進に積極的な企業トップや滋賀県副知事の講演、滋賀県知事・大津市長との意見交換会および異業種の参加者との共同研究など、多くの方々のお話を聴くことができました。研究会に参加したことにより、女性も勇気をもってどんどん活躍するべきであると考えようになりました。当社には女性社員も多数勤務しており、育児期であっても仕事と家庭の両立が可能な制度が充実している会社であると思います。これからのステップアップを目指し、よき人材になれるよう目標を掲げ頑張ります。

#### ■ 障がい者雇用

##### 法定障がい者雇用率達成状況

2016年度 目標 2.0%以上 ⇒ 実績 **1.92%**

東レグループでは、身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者を採用・雇用しています。関西ティーイーケイ(株)は、真摯に仕事に向き合う障がい者と共に働くことで、社員全体のモチベーションを上げ、さらに職場の活性化を図って、障がい者の強みを活かした仕事の切り出しによって、新たなビジネスモデルを創出したり、障がい者に対応したプロセスの見直し、職場全体の改革につながると考えています。

今後も、障がい者が働きやすいようなハード面・ソフト面を含めた職場環境の整備に積極的に取り組んでいきます。

#### ■ 再雇用制度

技術・技能の維持・継承、後継者育成の観点から、60歳を超える社員の活用を図るため関西ティーイーケイ(株)では、1987年に再雇用制度を導入、早くから「希望者全員を65歳まで再雇用」する取り組みを行っています。近年、当社の要員構成から、60～64歳の層が減少しており、就業形態の多様化を図る中で、65歳以上の高齢者の継続雇用にも積極的に取り組んでいます。

#### VOICE



北陸事業所  
福井出張所長  
こばやし こうじ  
小林 幸治

嘱託社員として今年で67歳を迎えようとしています。東レ(株)滋賀工場に入社し東レエンジニアリング(株)に転籍、その後石川工場に転勤し保全業務に就いていました。1984年には外部工事(東レ・ダウコーニング(株)福井工場)を担当するようになり現在に至っています。

私は福井生まれで、現職場から5分位の所から通っています。60歳で再雇用嘱託社員として地元で働き続けられる喜びを感じながら、福井出張所長をバトンタッチ出来るまで頑張るつもりです。

### 社員が働きやすい企業風土づくり

#### ■ ワークライフバランスの実現に向けた取り組み

##### 年休取得率

2016年度 目標 79.5%以上 ⇒ 実績 **81.0%**

関西ティーイーケイ(株)は、東レ(株)の制度に合わせて、男女ともに多様なライフスタイルを選択できるよう、ワークライフバランスの実現に向けた制度の充実を図ってきました。特に、育児や介護、母性保護に関連した制度は法令以上の内容で利用しやすいように整備しています。

育児休暇・介護休暇に対する施策として、特別休暇・子の看護休暇・介護休暇に関する制度拡充、育児・介護など短時間勤務制度の短縮単位の見直しに関する制度改制(1日2時間を限度として、15分単位で短時間を取得可能。フレックスタイム制度との併用可能)を実施しました。

さらに関西ティーイーケイ(株)では、ワークライフバランスを職場イノベーションの取り組みとして位置付け、各職場での話し込みを通じた働き方に関する意識改革、全社一斉早帰りデーの実施(1日/月の設定)に取り組まれました。時間外労働時間の削減や年休取得の促進については、継続的な取り組みにより、働きやすい就労環境づくりに努めています。

特に夏季ワークライフバランスについては、7月～9月に運動期間を設け、全社一斉早帰りデー:1日/月、リフレッシュデー:2日以上/週、年休・特別休暇取得&連続休暇の推進策として、本運動期間中に5日連続休暇(定休日・特定休日含む)、5日間の年休・特別休暇の取得に取り組んでいます。

2016年は年休取得率が81.0%になりました。

VOICE



滋養事業所 保全2部  
むらた りえ  
村田 利枝

1年間の育児休職を取得するにあたり会社に迷惑を掛けたくないか不安でしたが、職場の皆様のご理解と支えがあり、安心して出産・育児に専念することができました。

育児休職中は、家事と子育てに追われ毎日があっという間でしたが、24時間じっくり子どもと向き合い充実した日々を過ごしました。また、今まで以上に地域交流も増え社内外でのつながりは子育てをするうえでの強みとなりました。

会社の制度として育児休職があるものの、職場の上司や同僚の理解や支えが無くては、安心して子育てに専念することはできません。今回多くの皆様に温かく見守っていただき、大変感謝しています。今後は職場の仲間が気後れすることなくこの制度を活用できるようサポートしていきます。

製品の安全と品質

関西ティーイーケイ(株)は、製品安全と品質保証の管理体制を強化し、適切な情報提供に努め、安全で信頼性の高い製品を供給します。

CSRロードマップ目標

- ① 製品事故ゼロ件を達成します
- ② 製品安全と品質保証の管理体制を強化します

マネジメント

東レグループは「品質の東レ」「お客様第一の東レ」を具現化するために、製品安全と品質保証について方針を定め、両者を一体のものとして進める体制を整備しています。

製品安全活動の推進体制

関西ティーイーケイ(株)は、製品の安全に関する全社の重要問題を審議する常置機関として「製品安全・品質保証委員会」を設け、毎年1回開催しています。委員長は社長、委員は製品安全管理責任者の上位監督責任者(製造担当役員)および品質保証

製品安全管理の基本方針 1992年1月制定

- 1. 製品の安全性確保に必要な諸施策は優先して実施します。
- 2. 製品の販売に先立つ安全性評価検討を十分に行います。
- 3. 販売を開始した製品についても、一般・お客様情報に留意し、常に安全性に関する注意を怠りません。

室長・安全管理部長で構成しています。

また、東レエンジニアリング(株)が開催する製品安全専門委員会に、社長が選任する専門委員が開催の都度参加しています。

東レグループ品質方針 2007年6月改定

全ての企業活動において、安全・環境と共に、お客様に提供する製品の品質を最優先し、「お客様第一」の姿勢で品質保証に取り組みます。

- 1. お客様の要望に応え満足いただける製品・サービスの提供に努めます。
- 2. 販売、生産、技術、研究等全部門は一貫して品質第一の思想に徹し、製品の品質と信頼性の向上に努めます。
- 3. 品質要求を達成するために、品質は設計と開発の段階で確立し、製造工程で作り込みます。
- 4. 品質保証体制を継続的に整備し、維持・向上に努めます。

製品安全・品質保証への取り組み

製品安全・品質保証教育の実施(完/未完)

2016年度 目標 完 ⇒ 実績 完

製品安全性審査への取り組み

東レ・東レエンジニアリンググループの一員である関西ティーイーケイ(株)は、お客様にご満足いただける製品、設備、サービスを提供するため、製品安全に関し、親会社の東レエンジニアリング(株)で定められた規則・ルールに基づき活動を実施しており、お客様が安全に安心してご使用いただける製品をご提供します。

関西ティーイーケイ(株)では、製品安全管理責任者は製品をランク付けし、

- ① 初めて社外で使用し、または試験販売もしくは頒布しようとする製品
- ② 上市しようとする製品
- ③ 事故(リコールを含む)および法令違反の発生、その他製品の安全性に疑いが生じた製品
- ④ 用途または規格が変更される製品
- ⑤ 製品安全性審査会の審査を過去に経ていない製品
- ⑥ 製品の性質に応じまたは開発投資の段階に応じて、安全性の検討が必要と考えられる製品

などについては、製品安全性審査会の開催を含む製品安全性審査を製造担当役員に要請するという取り組みを行っています。この審査会に合格して初めて製品の市場投入を認める仕組みと

製品事故の防止

製品事故件数

2016年度 目標 0件 ⇒ 実績 0件  
2016年度は、製品安全に関するトラブルの未然防止ができました。

品質保証活動推進体制の充実

売上高比クレーム費用比率

2016年度 目標 0.1%以下 ⇒ 実績 0.01%

関西ティーイーケイ(株)は、2014年度に、エンジニアリング・機器両事業本部内に「品質保証室」を設置し、仕事の質のさらなる向上を図るとともにISO9001の認証取得に取り組んできました。この結果、2015年5月に機器事業本部が先行して認証を取得、続いて2016年5月にエンジニアリング事業本部プラント事業部が拡張認証を取得しました。

当社が取得した認証は、2008年版であり、この認証は2018年9月に失効するため、新たに2015年版の認証取得に取り組むことを決定し、2018年5月の取得に向けた活動を本格化しています。



理事 品質保証担当  
はやし くにひこ  
林 久仁彦

サプライチェーンにおけるCSRの推進

関西ティーイーケイ(株)は、調達・購買先、買付先、委託加工先、販売先、物流会社と協働し、CSR調達などサプライチェーン全体でのCSRへの取り組みを促進しています。

CSRロードマップ目標

- ① 重要な取引先(購買先、外注先)に対してCSR調達を要請します
- ② お客様(販売先)からのすべてのCSR調達アンケートに対応します
- ③ 東レエンジニアリンググループ全体でCSR調達の体制を整備します

マネジメント

東レグループは、企業活動におけるCSR調達の重要性を認識して、環境や社会面に配慮した素材・製品を、環境に配慮した輸

送方法でお客様に供給することを「CSR調達ガイドライン」で宣言し、調達パートナーであるお取引先(サプライヤー)や物流パートナーと共に社会的責任を果たせるバリューチェーンを構築しています。

CSR調達・購買活動

関西ティーイーケイ(株)は、お客様にご満足いただける商品・サービスを提供するため、以下に定める「調達基本方針」に基づき調達活動を行っています。また、調達活動において、お取引先と共に企業が果たすべき社会的責任を追求します。

調達基本方針 2014年12月制定

- 1. 門戸開放方針  
私たちは当社の商品に使われる部品・材料・機器・工事等の調達に関して、国内外を問わず広く門戸開放します。
- 2. お取引先との共存共栄  
私たちはお取引先と「共存共栄」を基本とし、相互発展を図ります。そのため、お取引先と緊密なコミュニケーションにより、強い信頼関係を築くように努めます。
- 3. グリーン調達の推進  
私たちは「環境に配慮したお取引先から環境負荷の少ないものを調達すること」を目指し、グリーン調達の推進を図ります。
- 4. 法令遵守と機密保持の徹底  
私たちは調達活動において関連する法令を遵守します。また、調達活動に伴う機密情報の取り扱いについて十分な注意を払います。
- 5. 反社会勢力との関係遮断  
私たちは反社会勢力との関係の遮断を徹底します。
- 6. 品質の維持・向上  
私たちはお取引先と共に当社商品・サービスの維持・向上に努めます。

VOICE



調達部 愛媛調達課  
課長代理  
ただし たかひろ  
只木 徳博

調達部の最大の使命は比例費の削減ですが、購買活動の牽制機能も担っています。

適正なお取引先へ、適正な価格で、適正な納期にて発注することにより、会社のフィルター的な役割を果たし、優良お取引先と共にCSR・リスク管理を進めています。

商品知識・調達関連法務の理解度を高めるべく日々努力し、最適な形での発注作業を目指し、お取引先からの信頼および当社の競争力を高めていくよう努めています。

国内外を問わず優良ベンダーの開拓に努め、営業部隊・技術部隊など他部署との連携を深めながら、CSR調達を推進し、受注拡大へ少しでも貢献できるように頑張っていきます。

■ グリーン調達の推進

関西ティーイーケイ(株)は、東レグループの一員として東レ(株)の取り組みと協調し、CSR活動推進の一環として地球環境保全を経営の優先課題のひとつと認識し、「地球環境貢献」と「製品の安全と品質(確保)」を目的として、お取引先と一体となって、グリーン調達を推進しています。

● 調達部における基本姿勢

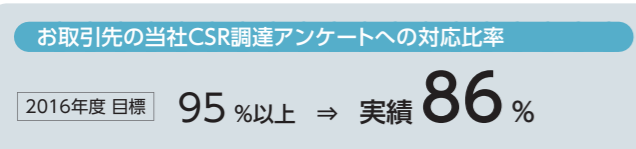
これまでの『S(安全)』、『Q(品質)』、『C(価格)』、『D(納期)』に加え、『E(環境)』を調達基準の重要な要素と位置付け、下記を基本姿勢としてグリーン調達を推進しています。

- ①環境保全活動に積極的なお取引先の製品を優先的に採用させていただきます。
- ②環境負荷低減とリサイクルを考慮した材料・部品・装置・役務などを優先的に採用させていただきます。

● お取引先との一体活動

- ①環境保全活動  
環境保全活動の一環として、関西ティーイーケイ(株)の基準を満たすお取引先を「グリーンサプライヤー」とし、そのお取引先の製品等を優先的に採用させていただいています。また、お取引先に、この「グリーンサプライヤー」になっていただけるよう、環境マネジメントシステム取得の推奨をはじめとする、さまざまな一体活動を推進しています。
- ②環境リスク物質調査  
環境リスク物質類の調査については、要調査となった段階で対象となるお取引先へ別途詳細を連絡しています。

■ CSR調達の推進



関西ティーイーケイ(株)は、CSR調達を継続して推進するにあたって、定期的にお取引先(サプライヤー)に対しCSRの取り組み状況を確認するため、「CSR調達アンケート」を配信しています。各社からの回答内容を回収・分析し、評価結果のフィードバックを行い、一部のお取引先を訪問するなどして、各社のCSRの取り組み状況を確認し、パートナーシップのさらなる向上に向けた改善を依頼する形で、PDCAサイクルを構築しています。

なお、「CSR調達アンケート」内容については、当社のCSR調達ガイドラインに沿った各社のCSR推進状況を確認しており、2016年度までに、343社に対し実施しました。

**CSR調達ガイドライン** 2004年12月制定

1. CSR推進のための社内体制を確立し、誠実に取り組むこと
2. 企業倫理と法令遵守の強化・推進を図ること
3. 安全・防災・環境保全をあらゆる経営課題に優先するとともに、グリーン調達・購入の推進に配慮すること
4. 不測の事態への迅速な対応と的確な情報開示をするなど、リスクマネジメントを展開すること
5. ステークホルダーとの対話と協働を促進すること
6. 製品の安全性確保を製品供給にあたっての前提条件とすること
7. 人権を尊重して、あらゆる差別を排除し、職場環境の改善に努めること  
また強制労働・奴隷労働・児童労働・不当な低賃金労働をさせないこと
8. 機密情報の漏洩防止および知的財産の尊重をしていること

■ サプライチェーン全体でのCSR調達の取り組み

関西ティーイーケイ(株)は、お取引先に対して取引基本契約書に法令遵守、環境などのCSRに関する条文を記載し、契約の新規締結時や改訂時に切り替えを実施しています。また、お客様からの「CSR調達アンケート」への対応比率100%を目標に、お取引先のみならず、販売先も含めたサプライチェーン全体でのCSR推進に取り組んでいます。

**コミュニケーション**

東レグループは、社員、株主・投資家、お取引先、消費者、地域社会、NPO、政府・行政、マスメディアなど各ステークホルダーとの対話と協働を促進します。

CSRロードマップ目標

- ① 「ステークホルダーとの対話の促進に関する基本方針」にのっとり、ステークホルダーの満足度を向上させます
- ② 各ステークホルダーとの対話と協働を適時適切に経営行動へ反映させます

■ マネジメント

東レグループは、「ステークホルダーとの対話の促進に関する基本方針」のもと、企業活動のあらゆる場面でさまざまなステークホルダーとのコミュニケーション活動を展開しており、活動内容については、経営陣が委員を務める「広報委員会」(年2回開催)にて定期的に報告・連絡・相談を実施しています。

**ステークホルダーとの対話の促進に関する基本方針**  
2005年9月制定

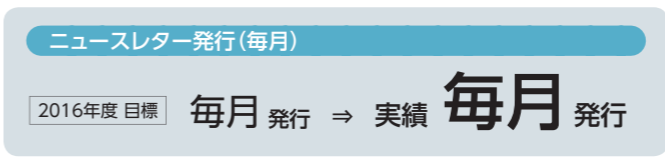
1. 東レグループをあげて、すべてのステークホルダー、すなわち、お客様、株主・投資家、お取引先、社員、行政、地域社会、NPO、市民、国際社会、マスメディアなどとの対話と協働を促進します。
2. 東レグループ各社は、ステークホルダーとの対話と協働を通じて、皆様の満足度の向上に向けた行動改革に取り組むこととします。
3. 東レグループ社員は、各々の職場単位で、CSR活動推進の一環として、ステークホルダーの満足度向上のための課題を設定し、その解決に取り組みます。

■ ウェブサイトによるコミュニケーション



東レグループのグローバルウェブサイト拡充に対応するため、当社のホームページの改修に取り組むとともに、定期的に内容の見直しを行い当社の最新情報を発信するよう努めています。

■ ニュースレターの発行



関西ティーイーケイ(株)では、2014年7月よりステークホルダー(利害関係者)とのコミュニケーションの一環として毎月『ニュースレター』を発行しています。当社の技術・製品の紹介やイベント、活動状況などを紹介し、当社のご理解を深めていただく一助としています。

なお、本『ニュースレター』は当社ホームページに掲載しています。

URL: <http://www.kansai-tek.co.jp/>

■ お客様とのコミュニケーション

■ お客様満足度アンケート

関西ティーイーケイ(株)は、「お客様との信頼関係強化と品質向上」を図るために、お客様とのコミュニケーションのひとつとして、定期的にお客様満足度アンケート調査を実施しています。

2016年12月に実施した調査の回答率は53%で、当社の事業運営に参考となる貴重なご意見やご要望をたくさん頂戴しま

した。前回調査に比べ満足度はやや向上しましたが、改善すべき事項もあり、日頃の商談では聴くことのできないご指摘も多くなりました。

こうしたコミュニケーションは、営業現場における業務改善やモチベーションの向上、および技術現場における技術力の向上にとって重要な役割を果たしています。当社は、今後とも一つひとつ丁寧にかつ真摯に、多様化するお客様のご要求に対応し、満足度の向上に努めていきます。

また、2016年10月に総務部内に広報グループを新たに設置し、お客様をはじめステークホルダーとのコミュニケーションの充実に努めています。

プラント事業部 営業部長  
まえだ よしあき  
前田 義明



■ プロモーションムービーの制作

当社のPR用として、初めてプロモーションムービーを制作しました。撮影の際には一部のお客様にもご協力いただき、社内各拠点での仕事風景を盛り込み、展示会や学生・お客様への説明など当社を理解していただくために活用しています。



プロモーションムービーの撮影

■ お取引先とのコミュニケーション

関西ティーイーケイ(株)では、いかなるお取引先にも平等に門戸を開放し、誠実、公正に対処することを心がけています。また、共に企業活動に取り組むパートナーとして、常日頃のコミュニケーションに加え、「CSR調達アンケート」などを通じて、相互理解を深めています。

■ 社員とのコミュニケーション

関西ティーイーケイ(株)では、各自のパソコン起動時に、経営・安全・人権についての社長メッセージ(毎月更新)を表示し、経営トップの意志を全社員に伝達する取り組みを続けています。

また社長が、各種研修開催後に受講者との懇談の場を積極的

に設けるほか、TPM活動において「社長指導会」として、各職場に出向き、その職場全員が活動内容・問題点・解決への取り組み状況などを社長に説明し、社長から直接意見・指導を受ける取り組みを継続しています。

### ■ カフェラウンジ“集”オープン

カフェラウンジ“集”は当社創立43周年記念日(2016年9月6日)にオープニングセレモニーを行いオープンしました。ラウンジという言葉には「人々がリラックスして集まる場」や「社交場」という意味があり、「皆が集いコミュニケーションの促進と仕事の疲れを癒しリラックスする場」として活用を図りたいという経営トップおよび従業員の共通の思いが込められています。



カフェラウンジ“集”

### ■ マスメディアとのコミュニケーション

#### ■ びわ湖放送での会社紹介

社長インタビューを中心に地元滋賀県のびわ湖放送の取材を受け、制御盤事業や部品加工の工場現場シーンを交えて、2016年6月4日に「滋賀経済NOW」で特集されました。また、本特集はびわ湖放送(BBC)のホームページにアップされています。



びわ湖放送の取材

### 社会貢献活動

東レグループは、よき企業市民として、地域づくりや未来世代育成に役立つ活動をはじめとした社会貢献活動を推進しています。

#### CSRロードマップ目標

- 1 CSR活動とのつながりを意識し、「東レグループ社会貢献方針」の通り、教育・環境・地域・社員を重点領域として、自主的かつ継続的に社会貢献活動を行います
- 2 当社の強みや地域の特性を活かし、質の高い教育支援に取り組みます

### マネジメント

東レグループは、地域社会との信頼関係は事業活動の基盤と考えており、「地域社会への貢献(社会貢献活動)」をマテリアリティ(重要課題)のひとつと位置付けています。

2005年に策定した「東レグループ社会貢献方針」は、企業理念「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」に基づいています。地域社会からの期待に応え、持続的な発展に資する活動を目指し、東レグループのリソースをこれまで以上に効果的に活用しながら、活動の企画と実行を進めます。

#### 地域社会貢献活動を行った従業員数

	2016年度 目標	実績
スポーツ振興	5人以上	8人
教育・環境	5人以上	3人
地域の一員	5人以上	8人

#### 東レグループ社会貢献方針 2005年5月制定

1. 東レグループは、企業理念「新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」に基づき、地域社会・国際社会のなかで、よき企業市民として、それら社会の持続的発展に貢献するとともに、社員の社会貢献活動を継続的に支援します。
2. 東レグループは、科学技術の振興を柱として、地域の社会福祉向上、伝統文化を通じた国際交流支援、スポーツ振興などのプログラムを独自に推進していきます。
3. 東レグループは、ボランティア活動など社員の社会参加を促進するため、会社表彰制度などで風土の醸成を図り、地域に根差した支援活動を行います。
4. 東レグループは、マーケティング活動や広報・宣伝活動を行う際も、その実施内容について、常に社会貢献の観点から見直し、実行します。
5. 東レグループは、連結経常利益の1%程度を目安に、社会貢献活動に資金などを拠出していきます。

関西ティーイーケイ(株)は、「東レグループ社会貢献方針」の通り、教育・環境・地域を重点領域とし、滋賀・北陸・愛媛のそれぞれの地域において、自主的かつ継続的に社会貢献活動に取り組んでいます。

#### 地域 地域の一員としてより良い地域社会をつくる 愛媛事業所周辺道路の自主清掃活動



愛媛事業所では1999年の開所以来18年間、毎週火曜日と木曜日に東レ(株)愛媛工場前の道路および当該事業所周辺の清掃を実施しています。清掃当日は朝早くに出勤し、猛暑の日も極寒の日も皆で協力し合っ

#### 地域 地域の一員としてより良い地域社会をつくる 新入社員による近隣施設の清掃

2016年度新入社員教育の一環として「びわこ学園」の清掃活動を行いました。清掃活動には新入社員だけでなく若手社員も自主的に参加し施設を綺麗にすることで地域社会貢献に取り組みました。今後も近隣施設の清掃を新入社員教育に取り入れ、地域の美化活動および地域の方々とのコミュニケーションを深める場として継続していきます。



#### 地域 スポーツ振興を通じた地域社会への貢献 伊予市の「光武館」松前体協剣道部による少年剣道指導



光武館では、愛媛県伊予市地区の地域貢献活動の一環として、1999年から約17年間にわたり地元の小・中学生を対象に剣道指導を行っています。私も、2007年4月に入社以来、東レ(株)剣道部の一員として伊予地区剣道連盟に加入し、東レ剣道部員と共に、松前体協剣道部で青少年への指導にも努めています。



愛媛事業所 動力保全部 青野 亮治

#### 地域 地域の一員としてより良い地域社会をつくる 優良電気従事者表彰受賞

優良電気従事者とは、滋賀県下の同一企業に10年以上勤務し電気関係の保守保安業務に貢献し、業績が特に著しい者の中から、滋賀県電気協会理事会において選考・承認されます。今回の受賞は、入社以来25年間東レ(株)滋賀事業場で電気保守保安業務に従事し、技術者の育成と技術伝承に努めてきたことが評価され、2015年3月に滋賀県全体で選考された4名の中に、当社から中井元さんが表彰の栄誉に浴しました。



滋賀事業所 保全2部 主任技師 中井 元

#### 社会 「おりづる会」募金協力



交通事故でお父さん、お母さん、あるいはご両親を亡くされた滋賀県に住んでおられる交通遺児に対して、精神的ならびに経済的な支援を行うことにより、健全な育成に貢献することを目的として活動を行っている「公益財団法人おりづる会」への募金協力を毎年実施しています。

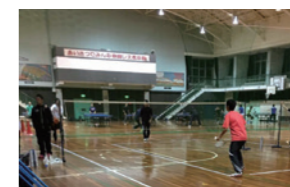
#### 地域 地域の一員としてより良い地域社会をつくる 大津安全運転管理者協会から感謝状を拝受

秋の全国交通安全運動(2016年9月21日~30日)の啓発活動の一環として大津安全運転管理者協会より、日々交通安全活動に対し真摯な取り組みや活動を実施している事業所として、感謝状を拝受しました。当社は日頃から「交通安全立哨」や「事故事例での危険予知トレーニング」など様々な活動に取り組み、交通事故防止に努めています。



※滋賀県警マスコットキャラクターの「けい太くん」です

#### 地域 スポーツ振興を通じた地域社会への貢献 福井市森田地区のスポーツ(バドミントン)指導



福井市森田地区でバドミントンを週2回、自分の練習も含め指導にあたっています。参加者数は15人程度で、森田地区のOBも参加し2時間/回程度ですが、日頃のストレスを発散しながら汗を流

しています。また、週末は各地の大会に出場するなど、充実したスポーツ生活を送っています。



北陸事業所 福井出張所 笹原 慎太郎

#### 地域 スポーツ振興を通じた地域社会への貢献 バレーボール教室での指導



私は、2016年5月まで東レアローズ女子バレーボール部に所属していました。バレーボール選手を引退した後はその経験を生かし、お声がかればバレーボール教室の講師として子どもたちを中心に指導を行っています。指導する際には、バレーボール教室に参加したことにより、何か少しでも上手くなるキッカケを見つけてもらえるような実技指導や声かけを意識しています。今後ともバレーボールを通じて社会貢献活動に取り組んでいきます。



管理・調達部門 総務部 高田 ありさ